

まちづくりとアートの未来をつくる 第3回札幌駅前通アワード

90秒以内の映像作品 2025年8月15日募集開始!!!



新たに誕生する「THE VILLAGE SAPPORO」w6×h3mの大型サイネージ・イメージ

まちづくりとアートの未来をつくる「札幌駅前通アワード」は、「札幌駅前通」を中心に札幌を文化的で創造的なまちとして発信することを目的に誕生しました。まちを面白くするアイデアや作品プランを募集し、芸術文化にあふれた魅力的なまちづくりを目指します。

第3回は、札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」に面して新たに誕生するオフィスビル「THE VILLAGE SAPPORO」の幅6×高さ3mのサイネージを舞台とし、受賞作品の発表場所として、チ・カ・ホの仮囲いを活用します。

札幌駅と大通駅という2つのエリアをつなぐ地下通路「チ・カ・ホ」は、利便性に優れているだけでなく、イベントや展示の開催、プロモーションや情報発信、交流の場としても機能しています。今までチ・カ・ホでは公共空間とアートの関係について議論や実験を行ってきましたが、今回はさまざまな映像表現が溢れる昨今、公共的空間にふさわしい映像表現とは何か？を模索するために本公募を実施する運びとなりました。

チ・カ・ホと新たに接続し札幌駅前通地区に新たに仲間入りする「THE VILLAGE SAPPORO」のコンセプトに沿い、公共空間の中で輝く映像作品を募集します。本公募事業を通じ、このサイネージが札幌の芸術文化の新たなプラットフォームとなることを期待しています。

お問い合わせ先 | 札幌駅前通まちづくり株式会社（今村・内川）

mail: info@ekimaest.jp

TEL: 011-211-6406（平日9:00-17:00）

FAX: 011-211-6408

主催 | いちご株式会社、札幌駅前通まちづくり株式会社

まちづくりとアートの未来をつくる 第3回札幌駅前通アワード

① 趣旨・テーマ

2026年4月に竣工予定のオフィスビル「THE VILLAGE SAPPORO」は、「Power Link Village 一つながり」をコンセプトに、人と人、都市と人のつながりを育む新しい都市拠点を目指しています。このコンセプトをもとに、「LINK」をテーマとした映像作品を募集します。単なる人的交流にとどまらず、空間、情報、価値など、さまざまな「つながり」の可能性を自由な発想で表現していただきます。

本アワードでは、以下のような映像作品を募集します

- ・ テーマ「LINK（つながり・関係・結びつける）」を想起させる作品
- ・ 開かれたビルのエントランス空間を彩る、多様な来訪者の関心を引き出す作品
- ・ 札幌のアートシーンに刺激を与える、新しい価値を創造しようとする作品

※本アワードはプロモーション映像の募集ではありません。
特定の団体・企業の宣伝につながる内容の映像は、審査対象外となります。

①サムネイル画像と映像で審査します。8作品程度を選出し、サムネイル（画像）と映像のリンク（限定公開で二次元コードから視聴可能）を、チ・カ・ホ仮囲いと札幌駅前通まちづくり株式会社webに掲出し、各賞も発表します。（2025年12月～2016年3月を予定）

②上記入選作品は、「THE VILLAGE SAPPORO」B1Fに設置される幅6m×高さ3mのサイネージ（音声あり）で放映されます。（2026年4月末頃から予定）

② THE VILLAGE SAPPOROのB1F エントランスとサイネージ

上質な『にぎわい』『交流』『文化』の空間を創出

光壁を施設のアイコンとして、チカホや駅前通からの視認性を高め、施設内へ人々を誘引します。店舗との機能連動による『にぎわい』の創出、パブリックビューイングやセミナー等イベント開催により『文化』『交流』の場となり、パブリック・コミュニティを醸成します。デザイン照明、吹抜けからの地上からの自然光、大型サイネージによる演出にて、質の高い空間を創出します。大型デジタルサイネージでは、アーティスト作品のデジタルアートや多様な情報を発信するとともに、パブリックビューイングやセミナー開催時に活用します。<https://ichigo-the-village.jp/sapporo/>



「THE VILLAGE SAPPORO」サイネージ・イメージ



チ・カ・ホ

まちづくりとアートの未来をつくる 第3回札幌駅前通アワード

③ 応募概要

応募期間 | 2025年8月15日（金）～10月15日（水）※必着

応募内容 | 1.5分（90秒）以内の映像作品とサムネイル画像

応募規定 | 1名（または1グループ）につき1作品まで

※新作・旧作は問いませんが、未受賞作品に限ります。

応募料 | 無料

応募資格 | 年齢、性別、学歴、国籍、団体・個人を問いません。

※日本語での応募のみ。日本語でのコミュニケーションが可能な方に限ります。

掲出場所 | ①チ・カ・ホ 仮囲い（2025年12月～2026年3月）

②THE VILLAGE SAPPOROサイネージ（2026年4月末頃から）

主なスケジュール ※変更になる場合がございます。

- ・2025年10月15日／応募締め切り
- ・2025年11月上旬／審査
- ・2025年12月～2026年3月／チ・カ・ホ掲示予定
- ・2026年4月末頃から／サイネージ放映予定

④ 応募方法

応募要項をお読みの上、下記フォームから必要事項を記載・アップロードしていただきます。

フォーム <https://forms.gle/oNGNoQpv44WRqytF9>

※ファイル名は、エントリー名（英数字半角のみ使用）に統一してください。

※応募時の画像は、審査用として軽量データをアップロードしてください。

※応募時の映像は、インターネット経由でストリーミング視聴できるものを応募者が用意ください。



⑤ 賞と審査

書類審査のみ。2025年11月に開催する審査会において、賞を選出します。

最優秀賞 | 1作品 [賞金20万円]

優秀賞 | 1作品 [賞金5万円]

いちご賞 | 1作品 [賞金5万円]

入選 | 5作品程度

まちづくりとアートの未来をつくる 第3回札幌駅前通アワード

審査員プロフィール



小野 朋子
新千歳空港国際アニメーション映画祭ディレクター

1976年札幌生まれ、北海道大学工学部応用化学科卒。2014年の新千歳空港国際アニメーション映画祭設立時より、チーフディレクターとしてプログラム選定と運営業務全般を行う。現在までに札幌文化芸術劇場での上映事業「札幌爆音映画祭」、「シネマシリーズ 映画へと導く映画」企画制作ほか、上映事業の企画制作多数。ほかに、札幌国際芸術祭2017コーディネーター、恵比寿映像祭2025上映部門コーディネーター。



田坂 博子
東京都写真美術館学芸員／恵比寿映像祭キュレーター

主な企画に「風景論以後」(2023)、「エクспанデッド・シネマ再考」(2017)、「アピチャッポン・ウィーラセタクン 亡霊たち」(2016-17)、「高谷史郎 明るい部屋」(2013-14)など。



山出 淳也
Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役

1970年大分生まれ。文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002~04年)するなど、国内外でアーティストとして活動した後、2005年にBEPPU PROJECTを設立。以降、BEPPU PROJECTが企画し実現した1,000以上の取り組みに関わる。地方都市でのアートプロジェクトのプロデュースや企画・運営のほか、地域や企業の課題解決を図る取り組みを数多く手がけ、BEPPU PROJECTを国内有数のアートNPOに育てる。2022年3月に代表を退任し、Yamaide Art Office 株式会社を設立。



吉松 健行
いちご株式会社 常務執行役 (ブランドコミュニケーション部担当)

上場企業の人事部門に長年携わった後、2007年より、いちご株式会社にて、広報、IRをはじめとした管理部門全般に従事。2016年に常務執行役に就任(現任)。現在は、ブランドコミュニケーション部を担当し、いちごグループのブランディング、広報を管轄。一般社団法人ブランド・マネージャー認定協会 ブランド・マネージャー1級資格。



内川 亜紀
札幌駅前通まちづくり株式会社 代表取締役社長

2010年の「札幌駅前通まちづくり株式会社」設立時より勤務し、2024年より現職。札幌駅前通地下広場及び札幌市北3条広場といった公共空間の運営を行うとともに、札幌駅前通地区のエリアマネジメントに携わる。一級建築士。

本リリースの問い合わせ先

札幌駅前通まちづくり株式会社 (今村・内川)

mail: info@ekimaest.jp

TEL: 011-211-6406 (平日9:00-17:00)

FAX: 011-211-6408

